

2012年度院生会活動内容

院生会は三鷹国際学生宿舎に居住する大学院生で構成されています。院生会では互いに協力をしながら、様々な活動を行っています。ここでは2012年度の活動を紹介します。基本的な活動は以下の4つになっています。

【ガイダンス】

新入留学生を対象に、4月と10月にガイダンスを行います(詳細は後述)。

【チュータールーム(TR)】

基本的に毎週火曜日と木曜日(留学生受け入れの4月と10月は回数を増やす)の週2回、21時~23時に、留学生の生活全般、学習面のサポートを行うため、TRを開いています。日本語の宿題、撤去された自転車の引き取り、自転車や家電の購入方法など、様々な相談を受けています。また、相談ではなくおしゃべりに来る留学生もおり、留学生との交流の場としての役割も担っています。

【月例会】

月に一度(原則として最終日曜日、21時~)、院生全員が集まって月例会(院生のミーティング)を開催します。ここでは予算、各種行事に関する事など、院生会の活動について話し合われます。

【各種イベント】

月に一度の割合で、映画上映会(MovieCafé)などのイベントを開いています。宿舎全体に参加を呼びかけています。映画上映会のように、事実上定期的に行うイベントもありますが、必須ではありません。2012年度はワークショップなど、有志によって企画が立ち上げられた例もあります。

有志が主体となる各種イベントを除き、以上の活動は基本的に全員で取り組んでいます。この他に2012年度は以下のような活動を行いました。

4月:新入留学生ガイダンス・歓迎会・各棟パーティ

三鷹宿舎に入ってくる新入生を対象に、宿舎やその周辺の情報の提供、また生活全般に関わる宿舎の規則(ゴミの捨て方、火気に関する注意)などを説明するガイダンスを実施しました。宿舎や大学での生活にできる限り早くなじんでもらうこと、またチューターの顔をなるべく早く留学生に覚えてもらい、円滑にサポートをするための基盤をつくることを目的としています。ガイダンスは日本語、英語で行いました。留学生と新入居者のための歓迎会と、棟ごとの交流を目的とした各棟パーティも実施しました。

7月末:送別会

7月末~9月末で宿舎を離れる留学生の送別会を行いました。三鷹宿舎共用棟で、留学生や院生の有志によるパフォーマンスを交えたパーティを開きました。

10月:新入留学生受け入れ・歓迎会・各棟パーティ

10月にも数十人の留学生が新たに入居します。およそ半分がAIKOM(駒場の交換留学生プログラム)生です。4月期と同様に、生活面のサポート等をするためにガイダンスを行い、宿舎周辺、吉祥寺駅周辺、最寄りの駅までの自転車での道等を案内するツアーを行いました。また、住民票登録や銀行口座開設、携帯電話契約に付き添いました。さらに4月と同様、留学生と新入居者のための歓迎会と、棟ごとの交流を目的とした各棟パーティも実施しました。AIKOM生の多くは日本語が話せません。日本に来るのが初めての人も多いため、4月以上に、丁寧な対応が必要です。

1月:新年会

お正月を留学生に体験してもらおうと同時に、留学生が学部生、院生と交流を深めることを目的として新年会を企画しています。餅つきや御屠蘇など、正月文化の一端を留学生にも体験してもらいます。

その他

春の消防訓練や、宿舎生会(三鷹宿舎生全員からなる組織で、院生会とは異なる)の災害対策基本会議では、消火器の使い方や避難経路の説明などを通訳しました。また12月には、AIKOM生が主体となってクリスマスパーティを実施してくれました。

4月、10月のガイダンスに限らず、日常生活に早く慣れてもらえるようお手伝いしています。バスの乗り方や、買い物の会計、ゴミ捨て、ATMの振り込みなど、一つ一つが留学生にとっては自分の国とは違うので、特に日本語が話せない留学生は戸惑うことが多いようです。留学生が多く来る4月と10月のはじめは休日に一緒に買い物に行ってほしいと頼まれることもあります。

各種イベントやその他の行事では、企画、広報活動、実施の全てを院生で行っています。形にはまることなく、みんなでアイデアを出し合って実行しています。留学生の生活をお手伝いしたり、相談や質問を聞いたりする中で、自分の親しんできた文化のバイアスの存在を初めて認識することも多く、チューターをしているととても勉強になります。

物事を企画、実行する力のある院生が入ってきてくれるととてもありがたいです。